



栃木県立宇都宮中央高等学校

全
日
制



所在地 〒320-0072 栃木県宇都宮市若草2丁目2-46
電話 028-622-1766
FAX 028-627-7870
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyachuojooshi/nc2/>
創立 昭和3年
課程 全日制課程
設置学科 普通科、総合家庭科
生徒数 832人（女子832名）（令和3年5月1日現在）
※女子は宇都宮中央女子高等学校の人数。
利用交通機関 J R宇都宮駅からバス25分



登録有形文化財赤レンガ倉庫



I 学校の概要

1 学校教育目標

社会の発展に貢献する情操豊かな人間の育成

2 目指す学校像

○次代を牽引するリーダーにふさわしい品格と深い教養を身に付け、理性的に物事を判断し行動する生徒を育てる学校

○向上心と粘り強さを持ち、心身を鍛え、自らを高め続ける生徒を育てる学校

○多様化・複雑化する社会の課題に向き合い、主体性を持って他者と協働し、未来を創造する生徒を育てる学校

3 生徒指標

高潔・情熱・進取

4 募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の（1）から（3）の全てに該当する者

（1）優れた学力を有し、人物的にも優れ、自己の目標実現に向けて意欲的に学習に取り組む生徒

（2）部活動、生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組む生徒

（3）集団の中でリーダーシップを発揮できる生徒

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

1 学校の特徴

昭和3年に栃木県立宇都宮第二高等女学校として開校し、今年度創立94年目を迎える本校は、創立以来地域から高い評価を受けてきました。県内屈指の美しい校庭や教室設備に恵まれる中、生徒は学習はもとより文化・スポーツ・ボランティア活動などに意欲的に取り組み、各界に多様な人材を輩出してきました。令和4年度からは男女共学となり、進学に重点を置く単位制高校としてトップ進学校を目指します。リーダーにふさわしい人間性の醸成も重視し、学校が一丸となって特色ある教育活動を展開します。教育環境も一層充実し、体育館やグラウンド、講義室等が新たに整備されます。

2 特色ある教育活動

（1）進学に重点を置く単位制の利点を生かした教育課程と個に応じた指導体制

○生徒の興味・関心や難関大学をはじめ希望する大学への受験に対応できる多様な選択科目の開設

○学問への探究心を喚起する発展的な内容を学べる学校設定科目の開設

○学習習熟度別授業や少人数授業等のきめ細かな学習指導の展開

（2）グローバル社会における課題解決への実践的な行動力を育む教育の推進

○自文化・異文化の理解を深める地域連携活動と国際交流活動

○課題解決に向けた論理的思考力や判断力、表現力を高める探究活動

○ICTを活用した主体的で発展的な学びの推進

(3) 豊かな人間性と社会性を育む特別活動等の充実

- リーダーシップ・フォロワーシップを育む生徒主体の学校行事や生徒会活動
- 個々の力を十分発揮できる充実した部活動等
- 社会貢献力を高める地域貢献活動及びボランティア活動等

3 学科・コース・教育課程の特色

単位制の利点を生かし、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な教科・科目を開設し、習熟度別少人数授業を展開します。また、探究心を高められる発展的な学習内容の科目を開設し、難関大学への受験にも対応できるようになっています。

【普通科】

普通科では、1年次で全員がほぼ同じ科目を学習します。その後は、それぞれの進路希望や目標に応じた学習ができるようにコース（類型）に分かれて学びます。興味のある分野を探究したり、習熟度別の少人数授業で学力を伸ばすことができます。難関大学をはじめ、多様な大学に進学できる体制が整っています。

◆普通科教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	英語コミュⅠ	論理・表現Ⅰ(英)	家庭基礎	芸術	理数探究基礎	LHR																		
2年	文型 論理国語	古典探究	文学国語	世界史探究 日本史探究	地理総合	数学Ⅱ	数学B	化学基礎	化学基礎	物理生物	体育	保健	英語コミュⅡ	論理・表現Ⅱ(英)	情報Ⅰ	総探	LHR																	
3年	文型 論理国語	古典探究	文学国語	世史探究 日本テーマ史	世界テーマ史 日本テーマ史	体育	英語コミュⅢ	論理・表現Ⅲ(英)	選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	総探	LHR																			
理型	論理国語	数学Ⅲ 数学特講α 数学特講β	数学C	物理生物	化学	体育	英語コミュⅢ	論理・表現Ⅲ(英)	選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	総探	LHR																			
選択①<3年文型>					選択②<3年文型>					選択③<3年文型>					選択④<3年文型>					選択⑤<3年理型>														
地理探究(4)					総合科学・英語研究 総合音楽・総合美術・総合書道					応用数学α①・応用数学β① 数学C・国語研究 フードデザイン					応用数学α②・応用数学β② 応用数学γ・世界地域史研究 日本文化史・ｽﾎｰﾂ概論・保育基礎					地理探究・現代社会テーマ研究 物理研究・化学研究・生物研究														
(a)論理・発展英語 時事国語(2)					(b)政治経済・応用音楽 応用美術・応用書道(2)																													

※選択①：地理探究又は(a)(b)それぞれの枠内から1科目選択する。選択②～⑤：それぞれの枠内から1科目選択する。

【総合家庭科】

総合家庭科では、「家庭」に関する専門的な知識と技術を、科学的な視点から体験的・総合的に学習します。将来は大学への進学をはじめ、様々な進路希望に対応できるよう、多様な科目が設定されています。高い技術を獲得するため、家庭科技術検定の合格も目指しています。

◆総合家庭科教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代国語	言語文化	公共		数学Ⅰ			物理基礎		生物基礎		体育			保健		英語コミュⅠ			論理・表現Ⅰ(英)		家庭総合			専門学科に関わる科目 生活産業基礎 ファッション造形基礎 フードデザイン			選択		理数探究基礎		LHR		
2年	論理国語	古典探究		歴史総合		数学A			化学基礎		体育		保健		英語コミュⅡ			論理・表現Ⅱ(英)		専門学科に関わる科目 生活産業基礎 生活産業情報 保育基礎 ファッション造形基礎 フードデザイン			選択 数学Ⅱ 芸術 生生活デザイン 応用英語			総探		LHR						
3年	論理国語	古典探究	地理総合		体育			英語コミュⅢ			論理・表現Ⅲ(英)		課題研究		生活産業情報		消費生活		調理			専門学科に関わる科目 保育実践 ファッション造形			選択①		選択②		LHR					
選択①		数学B・応用数学・応用音楽・応用美術・応用書道・服飾手芸															選択②		世界史探究・日本史探究・生物・化学・総合理科															

※選択①②：それぞれの枠内から1科目選択する。



キャリア教育発表会



理科実験



調理実習



テーブルマナー教室

Ⅲ 進路状況

1 令和2年度卒業生の進路状況

学 科	進路	進 学										就 職		他	
		大 学						短 大		各種専修学校					
	卒業者数		国公立大		私立大		大学計								
総合家庭科	41	0	0.0%	27	65.9%	27	65.9%	5	12.2%	8	19.5%	1	2.4%	0	0.0%
普 通 科	234	66	28.2%	144	61.5%	210	89.7%	2	0.9%	8	3.4%	1	0.4%	13	5.6%
学 年 合 計	275	66	24.0%	171	62.2%	237	86.2%	7	2.5%	16	5.8%	2	0.7%	13	4.7%
		260 94.5%													

2 令和2年度の主な大学等合格先

- 【国公立大】 帯広畜産大、北海道教育大、岩手大、東北大、秋田大、山形大、福島大、茨城大、筑波大、宇都宮大、群馬大、埼玉大、電気通信大、東京外語大、東京学芸大、東京芸術大、信州大、岐阜大、静岡大、大阪大、和歌山大、香川大、高知大、琉球大、秋田県立大、会津大、群馬県立女子大、高崎経済大、埼玉県立大、東京都立大、都留文科大
- 【私 立 大】 足利大、国際医療福祉大、自治医大、獨協医大、白鷗大、獨協大、文教大、青山学院大、大妻女子大、学習院大、北里大、共立女子大、國學院大、駒澤大、実践女子大、芝浦工大、上智大、昭和女子大、女子美大、成蹊大、専修大、大東文化大、津田塾大、東海大、東京家政大、東京女子大、東京女子体育大、東京電機大、東京農大、東京薬科大、東京理科大、東洋大、日本大、日本女子大、日本体育大、法政大、武蔵大、明治大、明治学院大、立教大、早稲田大、学習院女子大、神奈川大、鎌倉女子大、フェリス女学院大、立命館大
- 【短 大 等】 国学院大栃木短大、東京家政大短大、栃木県立衛生福祉大学校、済生会宇都宮病院看護専門、獨協医科大学専門、
- 【就 職】 宇都宮市役所、栃木県警察行政

Ⅳ 学校行事・特別活動

1 学校行事（宇都宮中央女子高校）

文化祭「秋桜祭」は、来校者が多いことで有名です。特に、総合家庭科生による作品発表の場であるファッションショーはその目玉です。また、体育祭は、学年を縦割りにした色別対抗で、1・2・3年生が力を合わせて行う応援合戦は体育祭の華となっています。他にも合唱コンクールなどの行事があり、全員が協力して団結力を高め合います。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 4月 入学式 | 5月 生徒総会・家庭クラブ総会 |
| 6月 スポーツ大会 | 7月 合唱コンクール |
| 8月 大学オープンキャンパスツアー | 9月 秋桜祭 芸術鑑賞会 |
| 10月 修学旅行 大学出張講座 | 11月 インターンシップ |
| 1月 寒稽古 百人一首大会 | 3月 卒業式 受験報告会 海外研修 |
- (令和元・2年度には実施していないものもある)

※学校行事については、伝統を尊重しながら、新校にふさわしいものに刷新していく予定です。



2 部活動

本校は文化部・運動部ともに活動が盛んで、全国大会や関東大会に出場する部・競技が多数あります。ほとんどの生徒が部活動に加入し、活動をしています。

- 【文化部】(令和4年度入学生予定)
文芸、演劇、理学、合唱、吹奏楽弦楽合奏、美術、書道、ハンドメイド、メディア情報、茶華道邦楽、放送、競技かるた、SCJRC、海外研究
- 【運動部】(令和4年度入学生予定)
陸上競技、ソフトテニス、バレーボール(女子)、バスケットボール、バドミントン、卓球、フェンシング、剣道、弓道、ダンス、サッカー、硬式野球(男子)
- ※(男子)(女子)とある部はそれぞれ男子のみ、女子のみが加入できます。表記がない部は男女とも加入できます。
- ※部の名称は変更になる可能性があります。

【令和2年度全国大会出場】（大会中止の部活動有）

文芸部、放送部、写真部、フェンシング部、水泳部

【令和2年度関東大会出場】（大会中止の部活動有）

合唱部、写真部、吹奏楽部、陸上競技部、フェンシング部、サッカー部

【令和元年度関東大会以上出場】

バレーボール部、バスケットボール部、水泳部、書道部、弓道部、新体操部



V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科10%程度、総合家庭科20%程度

2 出願するための資格要件

本校を強く志望しており、普通科においては次の要件（1）（2）の全てに、総合家庭科においては次の要件（1）（2）（3）の全てに、該当する者

- （1）中学校における各教科の学習成績に優れ、進学への高い目標を持ち、入学後も意欲的に学習に取り組む意志をもつ者
- （2）中学在学時に、校内外におけるスポーツ活動や文化的活動または生徒会活動において優れた実績を上げ（ただし団体活動においては中心メンバーとして活躍していること）、入学後もそれらの活動などに積極的に取り組む意志をもつ者
- （3）総合家庭科を志望する動機・理由が明確・適切であり、総合家庭科に対する適性や興味・関心を有する者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数500～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分、志願理由書及び面接の結果から、資格要件に該当する実績について段階評価を行う。
- 4 面接及び小論文は、それぞれ段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2、3、4の全ての評価が特に優秀または優秀であり、かつ【資料の取扱い】の2、3の評価において、いずれかまたは両方が特に優秀である者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者を対象とし、【資料の取扱い】の2、3、4の全ての評価が特に優秀、優秀または良好であり、かつ【資料の取扱い】の2、3の評価において、いずれかまたは両方が特に優秀である者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第3次審議

第1・2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。